

東京都 北区（十条駅西口公益施設整備事業）

- 北区では、森林環境譲与税を多世代交流などに寄与する施設整備事業に積極的に活用する方針である。
- 令和6年度には、十条駅西口地区第一種市街地再開発事業に伴う公益施設の整備において、内装材や什器に木材を取り入れた。

□ 事業内容

十条駅西口地区第一種市街地再開発事業に伴う公益施設の整備

「北区ジェイトエル」内装材・什器の木材利用

【事業費】750,384千円（うち譲与税32,552千円）



（ラウンジ）



（チルドレンスペース）

□ 工夫・留意した点

親しみのある木質空間を目指し、内装材や什器に効果的に木材を取り入れ、老若男女を問わず、誰もが心地よく感じられる憩いの場を実現した。

高層本棚やチルドレンスペースの机・椅子にも木材をふんだんに使用し、視覚的にも触覚的にも木の温もりを感じられるよう工夫した。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：40,389千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

東京都 北区（環境学習事業）

- ▶ 北区では、「北区環境基本計画2023」の重点施策として掲げている自治体連携による森林整備の取組みを推進している。
- ▶ 令和6年度は、友好都市等における森林資源を活用し、森林整備体験学習を実施した。

□ 事業内容

・区内在住、在学の小学校5・6年生を対象に、連携先自治体である群馬県中之条町及び北海道清水町における森林資源を活用した森林整備体験学習を実施した。

【事業費】3,582千円（うち譲与税3,582千円）

【実績】群馬県中之条町：6名の参加
北海道清水町：20名の参加

□ 取組の背景

- ・北区は、北区環境基本計画2023において、自治体連携による森林整備の取組みを推進することを重点施策として掲げている。
- ・その取組みの一環として、友好都市である群馬県中之条町及び渋沢栄一とのつながりで連携している北海道清水町との関わりを生かし、それぞれの住民を対象にした森林整備体験学習を共催により実施することとなった。



（植樹の様子）



（間伐体験の様子）

□ 工夫・留意した点

- ・連携先の自治体とは事前に連絡を取り、地元の各関係団体にもご協力をいただきながら、植樹や間伐などの行程内容を計画した。
- ・地元の子ども達との交流を図るため北海道清水町ではホームステイでの宿泊を行った。
- ・実施後に、体験学習に参加して感じたこと等を発表する参加者報告会を実施した。

□ 取組の効果

- ・都市部ではあまり体験できない実際の森林整備を体験してもらう機会を提供することで、地球温暖化対策の意識醸成に繋がる。
- ・連携先自治体である群馬県中之条町と北海道清水町の自然を体感でき、また現地の方との話を通じて文化を学ぶことができる。

◇ 基礎データ

①令和6年度譲与額：40,389千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

東京都 北区（カーボン・オフセット事業）

- 北区では、「北区環境基本計画2023」の重点施策として掲げている自治体連携による森林整備の取組みを推進している。
- 令和6年度は、友好都市等の森林整備を支援するとともに北区の二酸化炭素排出量と相殺するカーボン・オフセットを実施した。

事業内容

- ・連携先自治体である群馬県中之条町及び北海道清水町の森林整備を支援した。また北海道清水町が販売するJークレジットを北区が購入し、北区の二酸化炭素排出量と相殺した。

【事業費】4,256千円（うち譲与税4,256千円）

【実績】・群馬県中之条町での整備（作業道開設）

作業道：677メートル

- ・北海道清水町での整備（植樹及び下刈り）

植樹：0.4ヘクタール

下刈り：5.0ヘクタール

- ・Jークレジット購入

清水町：375t-CO₂



ゼロカーボンシティ
北区▶2050

（北区ゼロカーボンシティロゴマーク）



（J-クレジットHPより引用）

取組の背景

- ・北区は、北区環境基本計画2023において、自治体連携による森林整備の取組みを推進することを重点施策として掲げている。
- ・その取組みの一環として、友好都市である群馬県中之条町及び渋沢栄一とのつながりで連携している北海道清水町との関わりを生かし、相互に協力して森林整備を実施することで、二酸化炭素吸収量の増加を図ることとした。

工夫・留意した点

- ・森林の少ない北区においても、カーボンオフセットを活用することで二酸化炭素吸収量の増加に寄与した。

取組の効果

- ・北区の二酸化炭素排出量から375t相当が相殺されることで、「北区ゼロカーボンシティ」の実現を推し進めることができる。

基礎データ

①令和6年度譲与額：40,389千円	②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：355,213人	⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より